

# 令和5年度組織目標

部局名	琵琶湖環境部
R5年度に特に注力する事項（目標）	○生物多様性の保全 目標： 生物多様性しが戦略の改定とムーブメント化
	○地域資源の活用で築く「やまの健康2.0」 目標： ・林業の成長産業化 ・琵琶湖森林づくり基本計画（第2期）の見直し ・関係者との連携による木育拠点の検討
	○琵琶湖をとりまく課題解決に向けた調査研究 目標： 琵琶湖環境研究の推進
	○地域循環型社会の実現に向けたCO2ネットゼロの推進 目標： ・サーキュラーエコノミーへの移行を目指したプラスチックごみ・食品ロス等削減対策の推進 ・バイオマス資源循環を含めた下水汚泥の有効利用の推進
	○マザーレイクゴールズ（MLGs）の推進 目標： MLGsの取組の広がり 新規の講演・MLGs 体操等実施団体数10件
	○湖沼問題の解決に向けた国際協力と情報発信 目標： 国際会議等における情報発信数 5件
	○関西広域連合における環境施策の展開と情報発信 目標： 環境保全局での広域の取組を推進するとともに、先進的な取組を積極的に発信する。
	○若手および女性職員の育成と活躍支援 目標： オフサイトミーティングなどで部内の風通しを良くするとともに、中長期的視点で施策を構築するための風土づくりを図る。

所属名	環境政策課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○琵琶湖環境研究の推進 目標： 琵琶湖環境研究推進機構で進めてきた「在来魚介類のにぎわい復活に向けた研究」のとりまとめと公表
	○琵琶湖博物館水槽破損事故の原因究明と安全確保、水族展示の再開 目標： 破損原因の究明と再開に向けた安全確保および再設置の検討
	○【見直し・効率化】課内協議の事務効率化の促進 目標： モニター活用による課内協議時のペーパーレス化の徹底と準備事務の効率化

所属名	琵琶湖保全再生課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○湖沼問題の解決に向けた国際協力と情報発信 目標： 第19回世界湖沼会議等を通じた本県の取組に関する情報発信・国際貢献
	○マザーレイクゴールズ（MLGs）の推進 目標： MLGsの取組の広がり、MLGsロゴマーク利用届出件数累計300件
	○【見直し・効率化】プレジャーボート適合証の電子化 目標： プレジャーボート適合証に係る電子申請（交付請求、変更・廃止届、承継届）の本格運用に向けた取組推進

所属名	循環社会推進課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○サーキュラーエコノミーへの移行を目指したプラスチックごみ・食品ロス等削減対策の推進 目標： ・「プラごみ削減の日」の創設と「しがプラスチックごみ削減行動宣言」による機運醸成と実践行動の促進 ・マイボトル使用可能な給水スポットの拡大（15スポット増） ・「三方よしフードエコ推奨店」登録店舗の拡大（30店舗増）
	○産業廃棄物不法投棄等不適正処理事案の未然防止・早期発見・早期解決 目標： 産業廃棄物の不適正処理事案のうち ・新規発生件数の年度内解決率 85%以上
	○【見直し・効率化】各種申請・届出の電子申請率の向上 目標： ・淡海エコオスター制度に係る届出 約50%→65%以上 ・産業廃棄物処理実績報告 約38%→50%以上 ・マニフェスト交付状況報告 約15%→30%以上

所属名	最終処分場特別対策室
R5年度に特に注力する事項（目標）	○住民との協定に基づく対策事業の有効性確認(R7年度末)に向けた評価手法の確立 目標： 令和5年度中に有効性確認の評価手法を地域住民と調整の上、合意を図る。
	○旧RD処分場の適正な維持管理 目標： 年度を通じた点検を行うとともに、必要に応じて修繕を実施し、旧処分場の支障除去の維持、水質浄化システムの適正な管理を確実に継続する。
	○【見直し・効率化】過去の累積資料の適切な把握と有効利用(アーカイブ作成等への役立てを図る) 目標： 令和5年度上半期中に過去のファイルに綴じている重要項目（キーワード）をデータ化し、データ検索の効率を上げる。

所属名	下水道課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○円滑な下水道事業の推進 目標： 市町長との調整による令和6年度事業計画の策定
	○矢橋帰帆島・周辺地域活性化への貢献 目標： 矢橋帰帆島公園利活用方策の策定
	○関係部局および市町との連携による汚水処理施設整備の推進 目標： 汚水処理施設整備構想の見直し（令和7年度まで）
	○バイオマス資源循環を含めた下水汚泥の有効利用の推進 目標： 高島浄化センター汚泥処理施設の供用開始。円滑な運営確保。
	○下水道事業の計画的な運営 目標： 琵琶湖流域下水道事業経営戦略の見直し
	○【見直し・効率化】 庁内メールを活用した報告や情報共有の迅速化・効率化 目標： 第一四半期までに、課内職員に周知してメール活用を徹底

所属名	森林政策課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○「やまの健康2.0」の推進加速化 目標： やまの健康を具体化する企業等との取組数 10件
	○琵琶湖森林づくり基本計画（第2期）の見直し 目標： 県産材利用条例を踏まえ、12月までに基本計画を改定する。
	○【見直し・効率化】 航空レーザ計測データの活用による業務効率化 目標： 森林解析図の活用により現地調査等を省力化する。

所属名	びわ湖材流通推進課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○林業の成長産業化 目標： 木造化に向けたプロモーション 9回 滋賀もりづくりアカデミー新規就業者コース 6名
	○木育の推進 目標： 多様な関係者によるワークショップでの拠点仕様検討、設計
	○【見直し・効率化】 国補助事業にかかる事務手続きの見える化 目標： 国補助事業にかかる事務のフローチャートを作成する

所属名	森林保全課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○主伐・再造林の推進 目標： 令和5年度の再造林等目標面積を35haとし、推進する。
	○高時川濁水調査の取りまとめと対策の検討 目標： 関係機関と連携し、10月末までに調査を取りまとめ、12月末までに対策を検討する。
	○【見直し・効率化】山地災害に対する迅速な対応 目標： ドローンの活用や研修の充実により、巡視や調査の効率化を図る。

所属名	自然環境保全課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○生物多様性しが戦略の改定とムーブメント化 目標： ・しが戦略を年度末までに改定 ・好事例の発信や対話等を通じて県民や企業等と連携した取組を促進
	○伊吹山の保全 目標： ・シカの捕獲推進および防護柵の強化等による植生保全 ・南斜面土壌流出対策に向けた関係者間の合意形成
	○【見直し・効率化】GISを活用した自然公園管理業務の効率化 目標： ・自然公園関係許可情報や県管理地情報をGISデータ化し、許可審査や現地調査、問合せ対応を効率化